大阪府立大学 研究推進機構

ケミカルバイオロジー研究所
Research Institute for Chemical Biology

第 37 回 ケミカルバイオロジー研究所セミナー
第 113 回 生物科学フロンティアセミナー
（大学院理学系研究科 生物科学専攻 細胞機能制御化学 特論）

「タンパク質ラベル化技術を駆使した生体分子イメージング」

堀 雄一郎 先生

大阪大学大学院工学研究科 応用化学専攻 准教授
免疫学フロンティアセンター（兼任）

令和 3 年 7 月 13 日（火）10:40～12:10 Web 講演（Zoom（予定））

参加希望の方は世話人（中瀬 E-メール：i-nakase@21c.osakafu-u.ac.jp）まで
ご連絡をお願いします（締め切り：令和 3 年 7 月 10 日）。受講案内をお送り致します。

合成蛍光プローブを用いたイメージング技術は、化学を基盤とした生命科学の研究手法として近年大きな注目を集めている。合成蛍光プローブの利点は、自由度の高い分子設計により、様々な生体分子情報が得られることである。我々は、PYP タグというタグタンパク質を見出し、そのタグを介して合成蛍光プローブによりタンパク質をラベル化する技術を開発してきた。特に、化学のアイディアに基づき、ラベル化反応時に蛍光性となる「発蛍光プローブ」を設計・開発することで、高コントラストにタンパク質を生細胞イメージングしてきた。最近では、タンパク質に加え核酸をイメージングする研究へとこの技術を発展させている。本セミナーでは、開発の経緯やこの技術の応用展開に関して講演する。

世話人・連絡先　中瀬 生彦（大阪府立大学大学院理学系研究科 生物科学専攻）

大阪府立大学 研究推進機構 21世紀科学研究センター ケミカルバイオロジー研究所
（所長 藤井 郁雄（大阪府立大学大学院理学系研究科 生物科学専攻））
〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1
TEL/FAX: 072-254-9895, E-Mail: i-nakase@21c.osakafu-u.ac.jp